

表3 食物アレルギー症状への対応

	軽症	中等度	重症
処置と対応	抗ヒスタミン薬を内服させ、注意深く症状を観察	抗ヒスタミン薬、ステロイド、気管支拡張薬を使用した上で医療機関を受診	エピペンを注射 (可能なら抗ヒスタミン薬、ステロイド、気管支拡張薬を使用)改善が不十分なら救急車等で緊急搬送。症状が改善しても速やかに医療機関を受診。エピペンが使用できない場合、救急車等で緊急に医療機関搬送
皮膚症状	発赤、かゆみ、蕁麻疹が顔などの限られた部位に出現	発赤、かゆみ、じんま疹が一箇所にとどまらず、別の部位にも拡大、発赤、かゆみ、じんま疹に加え、腫脹・浮腫が耳、眼瞼、手足などの限られた部位に出現	発赤、かゆみ、じんま疹が全身に広がり真っ赤に癒合 発赤、かゆみ、じんま疹に加え、腫脹・浮腫が頭、首、四肢などに広範囲に出現
粘膜症状	結膜の充血・かゆみ・口唇・口腔内の違和感、くしゃみ、鼻汁、鼻閉	結膜・眼瞼の浮腫 口唇・舌・口腔粘膜の浮腫 多量の鼻水・強い鼻閉	
消化器症状	嘔気 軽い腹痛	1~2回の嘔吐、1~2回の下痢 持続する腹痛	反復する嘔吐 反復する下痢、強い腹痛
呼吸器症状	単発的な咳	持続的な咳 ぜん鳴(軽度)息苦しさ(軽度)	間断ない咳、明瞭なぜん鳴、呼吸困難・努力呼吸、声が出しづらい、唾をのみこめない、横になれない、口唇チアノーゼ
全身症状 (神経症状)	元気があり、機嫌や活動性にほとんど支障をきたさない	元気がなくなり、不機嫌となり活動性が障害される	ぐったりして動かなくなる。興奮したり、意識がもうろうとなる。時に意識が消失する。 一刻の猶予も許されない極めて危険な状態